



Library News



『読書』と言ったら、どんな本を読みますか？

小説は勿論、雑誌や教科書、図鑑まで……『読書』の定義は人それぞれです。

全国の国公立および私立大学の学生を対象に行った「第 50 回 回学生生活実態調査」にて、『読書だと思えるものは？』という調査を行いました。その回答では（複数回答）「趣味や関心のための書籍」93.1%のほかに、「教科書や参考書」31.2%「趣味・情報雑誌」21.7%「漫画」13.4%という結果になり、皆さん色々な意味で『読書』を楽しんでいるようです。

あなたにとっての『読書』とは、どんな本を読む時にあてはまる言葉ですか？

ある大学教授の論文によると、『読書』の定義はその対象となる本が『ストーリー性があるかないか』と『気軽に眺める物ではなく、集中し対応しなければならない重厚なものかどうか』の人それぞれの捉え方の違いではないかと推測しています。

自分にとっては『読書』だと思っている物が、他の人には違って見えている……なんて事もあるかもしれませんね。

人によって違う『読書』の捉え方

私が薦める この一冊

第 6 回 経営経済学科教授 本村 裕之先生

ダレル・ハフ著 高木秀玄訳

『統計でウソをつく法 - 数式を使わない統計学入門』

タイトルにある通り（ほぼ）数式を使わずに「統計」を説明している。原著は 1954 年発行。50 年経った今でも統計の入門書としてはおススメの 1 冊。とはいえ、これで統計学が分かるようになる……ってわけではない。一言でいえば、「統計を使った騙しに引っかからないようにするためにはどうしたら良いか」を教えてくれる本。統計を学ぶときの心構えを教えてくれている（ちと言い過ぎ）。

新聞…ではあまりエセ統計学みたいなのは見ない（証拠が残るから）。でも、テレビでは流れていくことで、結構誤魔化されたグラフや表を見せられることがある。時々「ウマイ！」って思わせられるものもあるけど、ほとんどは「ああ…」「イマイチ」ってものばかり。統計・マーケティングの基本 5W1H が分かっていたら、騙されることはない。それを教えてくれたのがこの本。流石に 50 年前の本なので、例としては大分古臭いものが使われている（当たり前）が、解りやすい解説とイメージしやすいイラストで、統計初心者でもストレスなく読むことが出来る。元々の文章が読みやすかったのか原著を見たことがないので（いや、読んでも分かんないだろオレ）何とも言えないが、翻訳をされた関西大学の故・高木先生の手腕による所が大きいのだろうと、読みやすかったオレは考えるわけです。

この本を初めて読んだのが、多分 30 年くらい前、20 歳か其処らの頃。実はその頃、統計は苦手な分野でした。今にしてみれば、人生を変えた 1 冊なのかもしれない。皆さんが、そんな 1 冊に出会うことを願って。

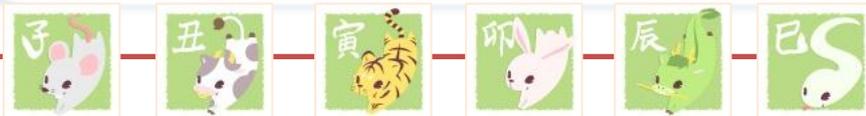
*本村先生お薦めの本は 2 階『おすすめ図書コーナー』に置いています。

今からでも間に合う！ 2015年の話題本

昨年、皆さんはどんな本を読みましたか？ 2015年のベストセラー(日版調べ)と本学図書館の貸出人気小説を振り返ってみましょう！

2015年本学図書館 人気貸出小説	
・『サラバ！(上・下巻)』	西加奈子
・『火花』	又吉直樹
・『鹿の王(上・下巻)』	上橋菜穂子
・『ラプラスの魔女』	東野圭吾
・『過ぎ去りし王国の城』	宮部みゆき
・『魔法科高校の劣等生』	佐島勤
・『スクラップ・アンド・ビルド』	羽田圭介
・『ゲート：自衛隊彼の地にて、斯く戦えり』	柳内たくみ
・『虚ろな十字架』	東野圭吾
・『絶唱』	湊かなえ
・『九年前の祈り』	小野正嗣
・『精鋭』	今野敏

日版調べ 2015年ベストセラー	
	火花 / 又吉直樹 お笑い芸人が初の芥川賞受賞で話題に！ 本学図書館でも予約殺到しました！
	フランス人は10着しか服を持たない / ジェニファー・L・スコット 発売が2014年にもかかわらず、女性の支持は衰えません。
	病という家族 / 下重暁子 書評が二つに割れる本。あなたは共感する？それとも……？
	一〇三歳になってわかったこと / 篠田桃紅 大正2年生れ、現役美術家篠田桃紅。言葉の重みが違います。
	置かれた場所で咲きなさい / 渡辺和子 修道女でもあり、ノートルダム清心学園の理事長でもある著者。テレビで取り上げられ話題になりました。



2016年、申年がスタートしました。皆さんご存知の十二支ですが、十二支のお話をご存知ですか？

「昔々、神様が動物たちに『元旦の朝、1番から12番目に来た者を、1年間動物の神にする』というお触れを出しました。ウシは足が遅いので、前日の夕方から出発していましたが、ウシの背中に乗っていたネズミは、ウシが到着する寸前で背中から飛び降りネズミが1番。3番目にはトラ、ウサギ、そしてタツとヘビが同時に来ましたが、ヘビがタツに先をゆずり、ヘビは6番目になりました。その後ウマ、ヒツジと続き、最初は仲良く出発したサルとイヌは途中で喧嘩をし、サルが9番目になり、仲裁をしていたトリが10番目、その後イヌ、イノシシという順番になりました」(地域により諸説あります)

このゴールの順番が十二支の並びとなりました。この十二支の動物たちは、四文字熟語にも登場します。『**虎視眈々**』や『**馬耳東風**』、『**画竜点睛**』など……動物が主役の四文字熟語はいろいろありますが、他にどんな言葉が思い浮かびますか？ **自分の干支が出る四文字熟語を調べてみましょう！**

*おすすめ図書コーナーに『十二支の四字熟語/著:諏訪原研』を紹介しています！



- 2月 FEBRUARY -						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					



休館日
8:30~20:00
8:30~18:00
8:30~17:00

図書館閉館時の本の返却は入口横の『**夜間返却口**』から返却ができます。返却期限は守りましょう！

- 3月 MARCH -						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		